

語いと英語教育(7)

- 1 . 選定語い(2)
- 2 . 発表語い(1)
- 3 . 外来語と英語教育(7)

1984年 2 月

本研究に携わった研究員

森永 誠	石津谷 進	萩野 浩
長 勝彦	青木 弘子	安原 修三
後関 正明	田中 裕子	備里川 正人
鬼山由美子		

目 次

主 旨	87
・ 選定語い(2) - 第2次中間報告 -	
1. 語い・基礎語い・基本語い・選定語い	87
2. 選定資料と基準	87
3. 「基本語い」への過程としての「選定語い・サビリスト」	88
4. 「みだし語」の基準	88
5. 「みだし語」について	89
6. 意味別頻度	90
7. リストのよみかた	90
8. 総語数および Range別語数	91
9. 第2次選定語いリスト	91
10. 選定語彙からはずした語等	91
・ 発表語い(1)	
1. 研究の概要	92
2. 今後の研究について	96
・ 外来語と英語教育(7)	
1. 第2次選定語いとかさなる外来語	96
2. かさならない外来語のリスト	97
3. 1-10にかさなる外来語	97
4. 発表語いと外来語	97
5. 外来語800語と「第2次選定語い」のRange別のかさなり	97
後 記	98
参考文献	98

目次は発表時のもので、ページの示されていない項目は、このダイジェスト版では省略されています。

主 旨

今回発表する「選定語い」は2回め、「外来語と英語教育」は7回め、継続研究である。「発表語い」は本年はじめてとりくんだテーマである。いずれも拘束力をもつ性格のものではなく、自由な発想にもとづく研究の地味なつまかさねである。

．選定語い

語いの選定の資料として語い統計の表にあらわれている最新の資料2種類をくわえ、より信頼度のたかい「選定語い」に改定することとした。また Range 1 の別表をやめて、ひとつのリストにまとめた。+じるしは外来語であることをしめす。1ページ約100語で、Range と意味別頻度が視覚的にとらえやすい構成として「選定語いサービスリスト」を提供することとした。

．発表語い

アジア地域・日本に住んでいる学習者には、日常性・地域性もふくめて、発表語いとしてどのような語が「選定語い」では不足しているか。この種の研究が、どこで、どの程度なされているか、資料を手にいれることができない現状である。愚行の指摘を承知であえて試行錯誤となるか、一步ふみこんでみたささやかな、第1回のレポートである。

．外来語と英語教育

「外来語と英語教育(6)」の表にある の「選定語い」に+のしるしでしめし、さらに付加する外来語を°のしるしでしめした。外来語が Range のすくないレベルに集中しているのではない事実も明白にした。外来語総数は800語である。

． 選定語い(2)

1．「語い」「基礎語い」「選定語い」に関する考えかた

上記の語の規定は、選定語彙 - 1 (外来語と英語教育 - 6 -)と同じである。

2．選定資料と基準

1) 前回と引き続き使用した資料は、次の10のリストとし、語数も変更しないこととした。

- (1) Longman Dictionary of Contemporary English の2,000語
- (2) M. West New Method English Dictionary 1,455語
- (3) L.A. Hill の1,000 Word Vocabulary
- (4) The New Horizon Ladder Dictionary of the English Language の・のレベル 1,000語
- (5) CEL (Cambridge English Lexicon) の Level 1・2 の1,215語
- (6) Thorndike: The Teacher's Word Book of 30,000語の1,110語
- (7) Ogden: Basic English の850語
- (8) Richards: English Through Pictures Book・, Book・の746語

(9) H. E. Palmer の Main List 3,000 語から選ばれた 1,521 語

(10) Active Vocabulary の 1,000 語

注：各リストの語いの選択の「目的、その他の特徴」は前回の中間報告とおなじ。

2) 第1次案に増補・削除した資料

(1) 増補した資料 2 種類と、その特徴

- ・ Frequency Analysis of English Usage: W. N. Francis & H. Kucera の Rank List の右側の adjusted frequency List から 1,215 語
- ・ (The English Journal) E J 英語実用語彙頻度表。竹蓋幸生の白色語いマークからえられた出現頻度のたかい 1,110 語。

(2) 削除した 2 種類

- ・ 中学校学習指導要領・別表 1
- ・ 「全英連・新基本単語活用集」改定版

注：選定資料としてなるべく語い統計の表にあらわれているものを増補することとしたため、紙面の制約もあり 2 種類削除した。

3. 「基本語い」への過程としての「選定語いサービスリスト」

1) 今回の「選定語い」はサービス・リストの性格をもっている。語の頻度と語の意味の頻度を重視し、さらに一般に認知されている 12 の「語いリスト」の Range が視覚的に 3 グループにわけてみられるように選定・構成されている。

4. 「みだし語」の基準

- 1) 単語をみだし語とする。2 語にわかれている合成語・句は、みだし語からはずす。
- 2) 下表の基準により「みだし語」をかんがえる。

	第 2 次選定語い			(将来の)基本語	
	いれる	はずす	考慮中	いれる	はずす
1. 同綴異字 (bear 熊・耐える)			○	○	
2. 同一語の品詞区別 (act 名・動)		○			○
3. 固有名詞・大陸・大洋・国・言語 ・人名 地名 / 山 / 川 / 都市	○		注	○	
4. 人称代名詞	○			?	?
数	注○			注○	
5. 曜日・月	○			○	
6. inflection					
1) 規則		○			○
2) 名詞 -	○			○	

3) 不規則	・ 名詞	○			○	
	・ 形容詞	○			○	
	・ 副詞	○			○	
	・ 助動詞	○			○	
	・ 動詞		○			○
7 . 動詞句			○			○
8 . 前置詞句			○			○
9 . 熟語			○			○
10 . 成句			○			○
11 . 合成語	compound N compound adj	1 語 ハイフン 2 語	○		○	
				○	?	?
				○		○
12 . 短縮形				注○		
13 . 略語		○			○	
14 . 記号等				○	?	?
15 . 接頭辞			○			○
16 . 接尾辞			○			○
17 . 接頭辞・接尾辞をふくむ語				?	?	?

5 . みだし語について

1) みだし語から はずした語

- (1) 品詞の違う同一語は一回だけ みだし語とし、他ははずした。
- (2) 同綴異語は、一回だけ「みだし語」とした語と、あらたにおこした語がある。
- (3) 2語以上の語からなる語は、みだし語からはずした。
- (4) 接頭語・接尾辞だけをみだし語とすることはさけた。
- (5) 名詞・動詞・形容詞・副詞の規則変化形はみだし語からはずす。ただし、品詞が変わっている語、意味・品詞が変わっている語はみだし語に入れる。
- (6) 不規則変化の動詞の過去形・過去分詞は、はずす。
- (7) 動詞の三人称単数現在形は、はずす。
- (8) 固有名詞のうち人名は、みだし語からはずす。
- (9) thee, thou のような古語は、はずす。
- (10) 短縮形は、発音・つづりで規則的な語は、「みだし語」から、はずす。ただし発音・つづりの不規則な don't と won't の2語だけは、おこす。

2) 選定語い(1) で「2文字」さげ表した語のうち「みだし語」に入れる語

- (1) 形容詞・副詞の不規則変化語および助動詞の変化した語は、みだし語に入れる。
- (2) 予備、月名は、みだし語に入れる。
- (3) 数詞については、one ~ twenty, thirty, forty, fifty, sixty, seventy,

eighty, ninety, hundred, thousand, million, および序数 first, second, third, fourth, fifth までを「みだし語」し、その他をはずす。

- (4) 人称代名詞の変化形は「みだし語」とする。
- (5) 固有名詞のうち、大陸、大洋、国名、言語名、宗教名は「みだし語」とする。
- (6) 略語はみだし語としてのこす。
- (7) ハイフンで連結した語は、「みだし語」とする。(例) ear-ring

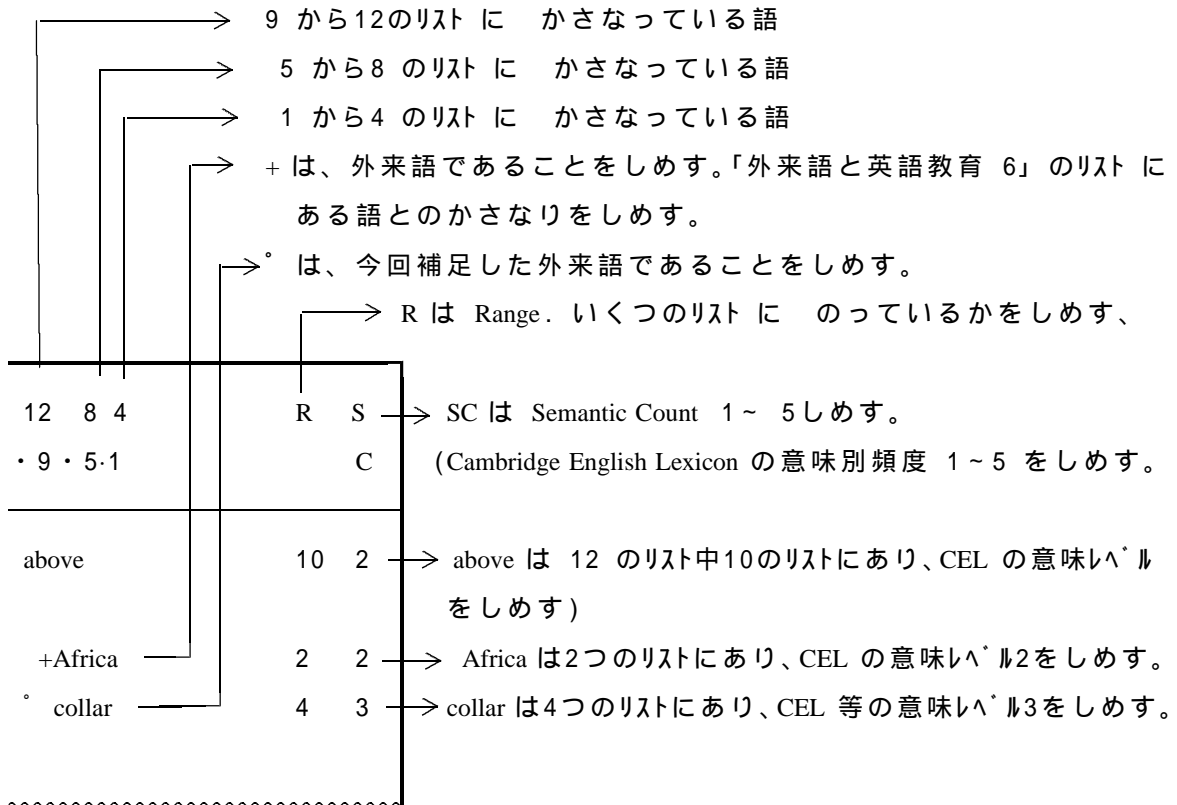
3) - 省略 -

6. Semantic Count (語、あるいは語中の意味別頻度/意味の統計)

今回は、1980年度版の Cambridge English Lexicon: Ronald Hindmarsh: Cambridge のリストの level 1~5 を semantic count の根拠とした。リストは 1~5 とレベルが示されている。それぞれのレベルの語数、および総語数は以下のように p. でしめされている。

Level	total	Comulative total
1.	598	598
2.	617	1215
3.	992	2207
4.	1034	3241
5.	1229	4470

7. リストのよみかた



8. 総語数および Range 別語数

1) 総語数 2875語

2) Range 別語表

Range	語数	累積合計	Range	語数	累積合計
12の語の数	204 語	204 語	6の語の数	153 語	1033語
11の語の数	104 語	308 語	5の語の数	183 語	1216語
10の語の数	202 語	510 語	4の語の数	216 語	1432語
9の語の数	151 語	661 語	3の語の数	303 語	1735語
8の語の数	94 語	755 語	2の語の数	434 語	2169語
7の語の数	125 語	880 語	1の語の数	706 語	2875語

9. 第二次選定語いリスト

12 8 4 ・9・5・1	R	S C	12 8 4 ・9・5・1	R	S C	12 8 4 ・9・5・1	R	S C
A			adult	1	4	alive	5	2
a	12	1	advance	3	3	all	12	1
ability	5	5	+advantage	2	3	allow	8	3
able	11	2	adventure	2	2	almost	10	2
about	12	1	adverb	1	・	alone	10	2
above	10	2	advertize	1	5	along	10	2
abroad	2	3	advertizement	1	3	aloud	4	3
absence	2	4	+advice	3	3	+alphabet	1	5
absent	5	4	advise	4	3	already	9	2
accept	9	2	aeroplane	2	1	also	10	3
° accident	5	3	affair(s)	3	3	although	9	・
accomplish	1	・	affect	1	4	altogethera	2	1
accordance	2	5	afford	2	3	always	10	・

10. 「選定語い」からはずした語

このリストには「基本語い」から、はずす予定の人名、2語よりなる語句・合成語・接頭辞・接尾辞はふくまれない。また、インフレクションのうち、名詞 - S, 形容詞・副詞の -er, -est、動詞の過去形もふくまれていない。ただし、動詞の -ing、および過去分詞形はふくむこととする。数字はレンジをしめす。(例 crossing 2)

- 以下省略 -

発表語い 1

1 研究の概要

本年度は、昨年着手した「選定語いの研究」をさらに整理するとともに、日本人が英語学習をするときの基本語いとして、その言語の地域性や学習する中学生にとっての必要語を考えて、発表語いを加えるべきではないかと考えた。そして、1)中学生が外国人に伝えたいことがら - 調査・、2)中学生が外国人に話したい内容 - 調査・、3)7項目の topics の中から、生徒が発表したい具体例(英文「学校生活」)4)具体的な表現をするために必要な語い、という過程で、研究を進め、日本の中学生にとっての基本的な発表語いを求める試みの一歩とした。

(1) 生徒が外国人に伝えたいことがら(第一次調査 7月)

日本の中学生が、実際に英語を用いて表現したい内容に、どんな“ことがら”があるのか次のアンケートで生徒の興味調査をした。

質問 「あなたが外国人に伝えたいことがらはどんなことですか。次のア・イ・ウの場合について、できるだけ具体的にいくつかの話題をあげてください。

ア．あなたの家のとなりに、同じ年ごろのアメリカ人がきたら

イ．東南アジアに友達ができたら

ウ．ニカウさん〔ブッシュマン、アフリカ人〕とお会いして、いろいろ話すとしたら

・調査の結果

調査の対象は、中学1・2・3年の各2クラス程度とし、研究員が、それぞれの勤務校の生徒について調べ、生徒の「伝えたい、たずねたい」ことがらを整理した。話題や、身近かな生活、特に食べもの、趣味、スポーツなどの日常生活に関するものから、歴史、文化、自然、科学、軍事、核、平和に至るまで、かなり広い範囲にまで及び、それが学校により、学年により差が見られ、非常に多様であることがわかった。

ア．あなたの家のとなりに、同じ年ごろのアメリカ人がきたら

・日本の食生活、生活習慣、歴史などの特色 - 省略 -

イ．東南アジアに友達ができたら

文通して、いろいろの情報交換をしたい。 - 省略 -

ウ．ニカウさんとお会いして話すとしたら

・日常生活がどんなものであるか。 - 省略 -

(2) 生徒が外国人に話したい内容(第二次調査 10月)

質問 「あなたが同じ年ごろの外国人(欧米・アジア・アフリカなど)と知り合い次の1~7の話題について話し合うとしたら、どんなことがらを伝えたいと思いますか。 具体的に書いてください。

- ・(私たちの)日常生活(衣・食・住・習慣など)・(日本の)学校生活
- ・ 友達 ・ 趣味・スポーツ・音楽・遊び ・(日本の)社会
- ・ 自分のこと ・(日本の)自然

・調査の結果

〔1〕私たちの日常生活(衣・食・住・習慣等)ベスト10

(A区 A中 1年生 100名)

- 1)私達は、食べることに困らない(15) 2)日本には、独特な食べ物がある(13)
- 3)はしを使って食事をとる(9) 4)外国ではどんな食べ物を食べているか(6)
- 4)日本は衣食住、いろいろと豊かである(6) - 省略 -

(B区 B中 1年生 83名)

- 1)食べ物(14) 2)おいしい食べ物(10) 3)おいしい水(6) 4)家(5)
- 4)食事の仕方<はし> (5) 6)衣服が豊かである(3) - 省略 -

(C地区 C中 2年生 76名)

- 1) はし(21) 2)「いただきます」「ごちそうさま」の習慣(15)
- 3) 主食は米である(14) 4)和服(11) 5) 年中行事には着物を着る(10) - 省

略 -

〔2〕(日本の)学校生活 ベスト10

(A区 A中 1年生 100名)

- 1)日本は外国と比べて色々な面(例えば生活指導、入試など)で厳しい(8)
- 2)先生にはおもしろい人や厳しい人がいる(7)
- 3)外国ではどんな勉強をやっているか(6) 4)部活がたくさんある - 省略 -

(B区 B中 1年生 83名)

- 1)給食(14) 2)制服(11) 3)先生(10)4)学校生活はたのしい(8)
- 5)学校をとりまく環境(5) 6)学校の規則が少し厳しい(4)
- 6)教科(4) 8)学校の教育設備(3) 8)時間割(3) - 省略 -

(C地区 C中 2年生76名)

- 1)勉強の量が多い(14) 2)週6日登校する(14) 3)1時間50分単位である(9)
- 4)入試と勉強 - 受験戦争 - (7) 4)学校のカフェテリア(7)
- 6)日本は3学期制である(6) 7)教科は全部で9教科ある(5) - 省略 -

〔3〕友達ベスト10

(A区 A中 1年生 100名)

- 1)仲のよい友達がたくさんいる(20) 2)友達がたくさんいる(16)
3)友達には明るい人、暗い人、おもしろい人などがいて話していたのしい
(6) 3)友達がいてか尋ねてみたい(6) - 省略 -

(B 区 B 中 1 年生 83 名)

- 1)おもしろい友達(15) 2)自分には友達がたくさんいる(8)2)優しい友達(8)
4)すばらしい友達(3) 5)外国の友達と遊びたい(2)

(C 区 C 中 2 年生 76 名)

- 1)自分の友達は楽しくて、おもしろい(22) 2)交友のしかた(4)
2)友達の性格(4) 2)自分の友達は親切である(4)
5)自分はよい友達がたくさん持っている(3) - 省略 -

〔 4 〕 趣味 , 音楽、スポーツ、遊びベスト10

(A 区 A 中 1 年生 100 名)

- 1)色々なものに興味を持っている(8) 2)自分の入っている部活紹介(8)
3)私の趣味は音楽鑑賞である(6) 4)自分はスポーツが好き(5)
4)自分の趣味が何だかわからない(5) 6)今流行している遊び(4) - 省略 -

(B 区 B 中 1 年生 83 名)

- 1)スポーツ(18) 2)野球(5) 3)遊び(4) 3)音楽(4) 5)釣り(3)
6)卓球(2) 6)ドッジボール(2) 6)クラシック音楽(2)

(C 区 C 中 2 年生 76 名)

- 1)日本で人気のあるスポーツ(30) 2)日本の伝統的なスポーツ(9)
3)日本の伝統的な遊び(7) 4)日本では邦楽より、洋楽が盛んである(6)
5)釣り(5) 6)日本の音楽(流行歌、演歌、民謡)(3) - 省略 -

〔 5 〕 (日本の)社会ベスト10

(A 区 A 中 1 年生 100 名)

- 1)日本には色々な事件が起きている(9) 2)日本には交通事故が多い(7)
3)日本は戦争もなく(とても)平和(5) 3)大韓航空機事件がマスコミをにぎ
わしている(5) 3)日本にはいろいろな社会問題がある(5)

(B 区 B 中 1 年生 83 名)

- 1)日本は工業国である(8) 2)日本は車が多い(5) 3)中曽根総理大臣(4)
3)日本は戦争がない(4) 5)日本は平和憲法である(3) 5)日本の国会(3)
5)日本は交通の便がよい(3) 8)日本は石油がない(2) - 省略 -

(C 区 C 中 2 年生 76 名)

- 1)大韓航空機事件(10) 2)日本は平和である(6)
3)日本は民主主義の国である(5) 4)中曽根総理大臣(4)
5)日本は国土が狭いがいろいろな技術が進んでいる(3) - 省略 -

〔 6 〕 自分のことベスト10

(A 区 A 中 1 年生 100 名)

- 1)自分は明るい性格である(14) 2)自分の趣味(7) 3)自己紹介(5)

- 4)自分はおっちょこちょいである 4)自分は内気な性格である(4)
 5)自分は友達が多いほうである(3) - 省略 -
 (B区 B中1年生 83名)

- 1)自己紹介(34) (2位以下は、各1名のため省略)
 (C区 C中 2年生 76名)

- 1)自分の趣味(21) 2)自分の性格・行動(15) 3)自分の家族(13)
 4)自分の勉強の成績(11) 5)自分の学校・学年・組(6)
 6)自分の体格(5) 7)自分の所属クラブ(4) - 省略 -

〔7〕(日本の)自然ベスト10

- (A区 A中 1年生 100名)

- 1)日本は自然が少なくなっている(3) 2)都会の自然は少ない(14)
 3)日本の山・川・湖(=自然)はとてもすばらしい(12)
 4)日本の自然についてどう思うか(4) 4)日本は公害がひどい(4) - 省略 -
 (B区 B中1年生 83名)

- 1)日本の四季(20) 2)日本は自然が少ない(16) 3)日本の自然の美しさ(8)
 4)東京はごみごみしていて空気が悪い(4) 4)自然をこわしすぎている(4)
 4)地震(4) 7)日本の天候 7)日本はごみが多い(3) - 省略 -

- (C区 C中 2年生 76名)

- 1)東京(大都会)には自然(緑)が少ない(16) 2)自然破壊(13)
 3)地方は緑が多い(13) 4)富士山(7) 5)自然保護の動き(6)
 6)日本の山のある美しい景色(5) - 省略 -

(3) 「学校生活」に関する生徒の発表語いを求めて

7つの項目についての生徒の伝えたい内容から、その発表語意を把握する一つの方法として、1)趣味、2)学校生活、3)自然、4)衣服・髪 5)給食、食べ物等について、生徒の話したい内容を英語で表現したらどうなるか、その表現の中に発表語いの一部を求めることが可能であろうと考えた、次の例は「学校生活」に関する、生徒の伝えたい、話したい内容を文章化したものである。

1 The education in elementary school for six years and in the junior high school for three years is compulsory in our country .

2 All the public elementary and junior high schools in Japan are coeducational .

3 In our junior high school we have three grades from the seventh to the ninth , and in each grade there are five classes .

- 省略 -

39 I am in the eighth grade and belong to 2-A Class . All my classmates are very nice to me , and I enjoy my schoollife with them .

・ 「学校生活」に関する発表語いとして考えられる単語(179語)

注1 : 印は第2字選定語いリストにないもの(44語)

注2：参考として compound N. を2文字下げて載せた。

activity	bow	day	European
admission	boy	December	event
admission ceremony	cafeteria	do	every
afternoon	camp	domestic	exam
also	ceremony	domestic science	examination
altogether	city	each	farewell
always	class	eager	farewell party

2. 今後の研究について

今回は、「発表語い」を求めて、試行錯誤というか、むしろ暗中模索の域を出ない研究であった。しかし、生徒が実際に発表したい内容に目を向けることで、部分的ではあるが何らかの方向が見出されるのでないかと思う。この生徒の発想と関心に結びついた研究を進めること、そして、われわれ日本人の英語教師が、発表語いとして不可欠なものが何であるかを追求することで、「選定語いの研究」に何かを付け加えることが可能になると思われる。研究部としては、この分野の研究を継続してすすめ、各位のご助言をいただければと思う。

外来語と英語教育 7

1 第二次選定語いリストとかさなる外来語

1) 「外来語と英語教育 6 : Appendix 2」の外来語

	みだし語	固有名詞等
1) フォニックス グレード1	78語	3語
2) フォニックス グレード2	418語	3語
3) 小学生6年時通過率50%以上	212語	20語
	708語	+ 26語

2) 上記730語中かさなる外来語(+をつけた語)は468語である。上記の730語にはないが、外来語として知られていると考えられる125語には、をつけて補足した。

	かさなる外来語	+
Range 12の語数	204語	75語 (73語 2語)
Range 11の語数	104語	35語 (30語 5語)

Range 10の語数	202 語	48語	(40語	8 語)
Range 9の語数	151 語	38語	(34語	4 語)
Range 8の語数	94 語	21語	(19語	2 語)
Range 7の語数	125 語	49語	(45語	4 語)
- 省略 -				
Range 1の語数	706 語	76語	(34語	42語)
計	2875	550	425	125

2 「外来語と英語教育 6 Appendix 2」にあり、「選定語いリスト」とかさならない語のリスト

「フォニックス グレード1・2と、小学6年生時通過率50%以上」のリストにあり、今回の「選定語い(2)」に+じるして「かさなりをしめした425語」にもれた語、237語を以下に示す。

ace, album, announce, appeal, Asia, assistant, Australia, balk, baseball, basketball, bat, beaver, beefsteak, bloc, boom, booth, boss, bound, bowl, bronze, bye, cable, calendar, can, cape, carnation, cash, catcher, champion

(以下省略)

3 12のリストにあり、「選定語い」からはずした語のなかには、以下の外来語がふくまれている。13語(Range 2・6語、Range 1・7語)

adviser 1, dancer 2, driver 1, helper 1, manager 2, owner 2, player 1, receiver 2, runner 1, shopping 1, smoking 1, swimmer 2, training 2

4 発表語いと外来語

発表語、日常生活語のなかで、外来語とかさなる語については、まだ未整理である。今後の課題である。たとえば、Japaneseですら、おちているのは興味ぶかい。

5 外来語800語と「第二次選定語意い」のRange 別のかさなり

上記、1・2・3の外来語合計8000語をRange別に選定語いの総語数とかさねると、下図となる。

		外来語
Range 12の語数	204 語	75語
11の語数	104 語	35語
10の語数	202 語	48語
9の語数	151 語	38語
8の語数	94 語	21語
7の語数	125 語	49語
6の語数	153 語	32語

5の語数	183語	43語
4の語数	216語	41語
3の語数	303語	40語
2の語数	441語	58語
1の語数	712語	83語
	?語	237語

後記

今回のレポートは、「発表語い」も視点にいった「基本語い」はの過程の中間報告である。選定語い(2)は、外来語との関連がわかる使用しやすい「選定語い」となることをねらった。

参考文献

- Frequency Analysis of English Usage: W. N. Francis & H. Kucera, Houghton Mifflin Company 1982
- EJ (English Journal) 実用英語語彙頻度集2000語水準: EJ編集部: The English Journal 別冊 1983年6月
- Longman Dictionary of Contemporary English: 1978, Longman
- The New Method English Dictionary: 1981 M. West, Longman
- The New Horizon Ladder dictionary of the English Language: J. R. Shaw: Yohan Shuppan American Series; Elementary Stories For Reproduction: L. A. Hill: Oxford Press Cambridge English Lexicon: Hindmarsh: 1980 Cambridge
- The Teacher's Word Book of 30,000 Words: Thorndike & Lorge: 1959, New York City, Bureau of Publications, Teachers College, Columbia Univ.
- Basic English: Ogden
- English Through Pictures, Book1, Book2: I. A. Richards & C. Gibson 1976
- Pocket Book 基本英語一千語集; 語学教育研究所、昭和46年: 開拓社
- Interim Report on Vocabulary Selection: H. E. Palmer 1930: IRET; 開拓社
- 英語教授方辞典 1982: 三省堂
- 日本語の成立: 安本美典: 昭和54年; 講談社現代新書・講談社
- 「外来語と英語教育1~6」1978~1983 東京都中学校英語教育研究会・研究部
- パーマー賞受賞校の実践記録: 語学教育研究所編: 1983年 大修館